

8月22日、東灘区 本庄児童館にて、「児童館出前エコ教室 水素を身近に感じてみよう！」を10時～12時に開き、小学3～6年生 児童29名が参加しました。

最初に、地球温暖化、二酸化炭素、太陽光発電などについてパワーポイントにて説明しました。

更に 水素はなぜ重要？ 水素燃料電池カーなどについてもパワーポイントにて説明しました。

その後、水の電気分解をして水素を作る実験を行いました。

締めくくりに、「わたしたちにできること エコチャレンジ」の小冊子を配布しました。

創エネ神戸は、山田、富田、香川、三上、小嶋省、小嶋洋、渡邊、中里、岡本が参加しました。

最初に「地球温暖化」について説明しました。



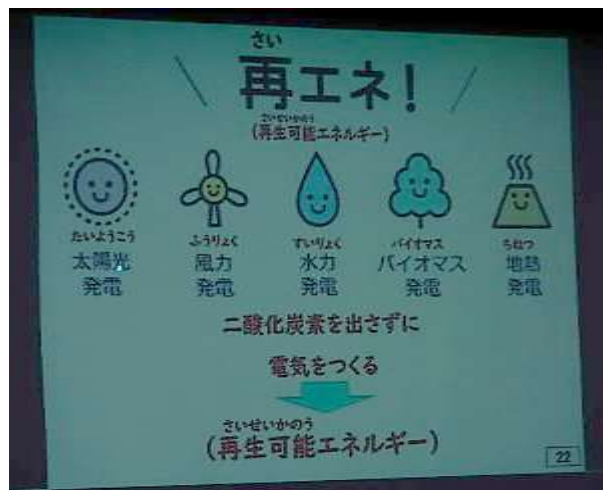
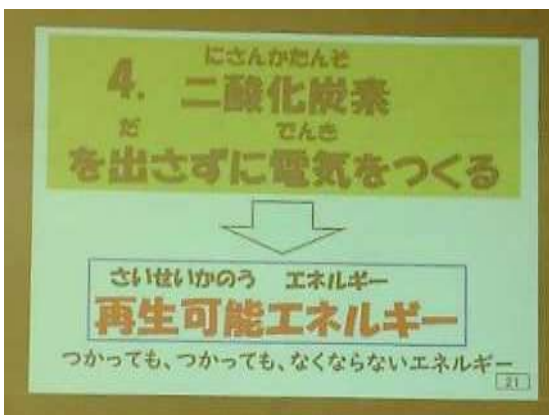
「地球温暖化」で何が起きているの？

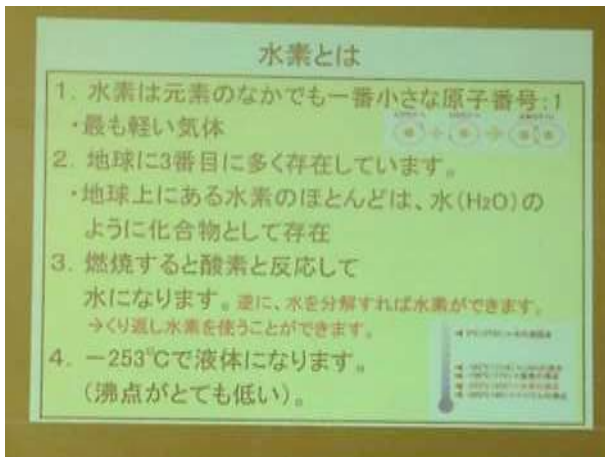
なぜ気温が上がっているの？ 二酸化炭素！

自分たちに出来ることは何か？

太陽光発電、風力発電、水力発電、バイオマス発電、

そして水素エネルギー・・・





少し難しい話を真剣に聞いています。

水を電気分解して、水素を作る実験を行いました。



実験の前に、全体の構成と使用するものを説明しました。

各テーブルで、水の電気分解装置で実験をしました。下から2本の電極が出ている容器に水を入れて、そこにセスキ炭酸ソーダを入れました。水素が発生する一極にヤクルトの容器に水を満たして、逆さまに被せました



電極に DC 電源より通電すると、水素と酸素の気泡が出てきました。



水素と酸素の気泡の出具合を観察しました。

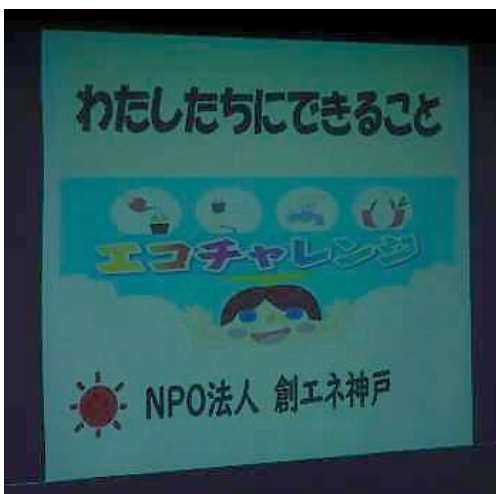


水素が溜まったヤクルトの容器を Tongue で持ち上げて、着火マンに火をつけて下から近づけると「ポッ！」と爆発をしました。

この水素爆発で水素が発生したことを確認しました。



最後に「わたしたちにできること エコチャレンジ」の12ページの小冊子を配り、説明をしました。



8つのエコチャレンジ項目が記載されており、家族で見て話し合うことを約束しました。



ほとんどの児童が「水素について学んでそして実験をして楽しかった！」との感想でした。
最後に、各自がその裏面に氏名とエコ宣言を記入した「KOBE エコチャレンジャー認定証」を
持ち帰りました。



終了後、集合写真を撮りました。

(写真：三上博之、岡本紘一)

(文、編集：岡本紘一)